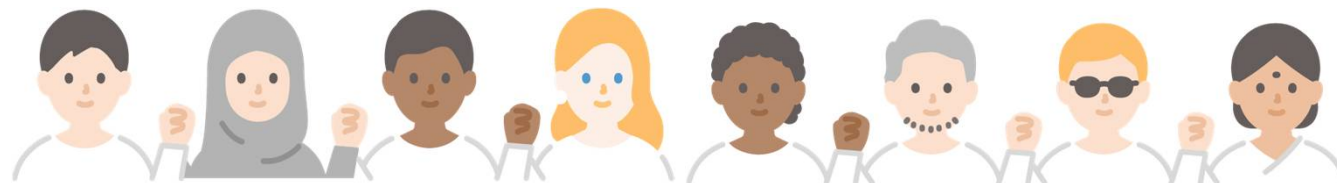


たぶんかきょうせい

多文化共生のまちづくり

外国にルーツを持つ方々と楽しむ
アイスブレイクゲーム



もくじ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

1 腕相撲

2 豆うっし

3 バースデー
チェーン

4 紙飛行機
飛ばし

5 新聞紙
パスサッカー

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との
交流向け)

1 アレンジ
ジャンケン

2 ニックネーム
決めゲーム

3 テーマクイズ

4 新聞紙タワー

5 みんなに
きいてみよう

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との
交流向け)

1 わたしは
こんなひと

2 はじめま
シンキング

3 共通点ビンゴ

4 ウソ?ホント?
ゲーム

5 積み重ね
自己紹介

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

腕相撲

どこでも誰でも簡単にできるゲームで、
体を使うことによってその場の緊張感がほぐれます。

所要時間



説明	2分
腕相撲	1分
勝者同士腕相撲	1分
人数に合わせて繰り返す	



準備物

机

あそび方

1

2人組を
つくり、
腕相撲をする

2

勝った人どうして
また2人組を作り、
腕相撲を
繰り返す

3

全員の中から、
チャンピオンを
決める



何人でもできる

人数が多い場合

…> チーム分けをしてチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

2 豆うっし

日本人と外国にルーツを持つ方々が一つのチームになり、協力し合うことで自然と距離が近くなります。



所要時間



説明・チーム分け 5分

豆うっし 5分

準備物

- 豆、あられ、ラムネ など
- おはし (大人用)
- スプーン (子ども用)
- お皿

あそび方

1

チームから一人
(または二人)
ゲーム挑戦者を選ぶ

2

一つずつ豆を
お皿からお皿へ
移し替える
(二人で挑戦する場合は
途中で交代する)

3

すべて移し終えたら
挙手する
(同時に挙手があった場合は
じゃんけんで順位を
確定する)



アレンジができる

- ・難易度を調整する
 - 簡単すぎる …> つかみにくい形のお菓子を追加
 - 難しすぎる …> つかみやすい形のお菓子を追加
- ・何分ですべての豆を移し終えるか…> 1分間で何個移し替えられるかにチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

3 バースデーチェーン

言葉が通じなくても、相手に伝えよう/相手を理解しようとして、自然とコミュニケーションが生まれます。

所要時間



}	説明	5分
	並ぶ	5分
	発表	5分



準備物

なし

あそび方

1

身振り手振りだけで
相手に自分の
誕生日を伝える
(誕生日を伝えるために
指で数字を示すのはOK)

2

誕生日の
早い順に円形に並ぶ

3

全員が並び終わったら
早い順から
誕生日を言っていく



何人でもできる

人数が多い場合

…> チーム分けをして (正しく並べるか、どちらが早く並べるか) にチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

4 紙飛行機飛ばし

日本人と外国にルーツを持つ方々が一つのチームになり、チーム対抗にすることで団結力が生まれます。また折り紙を使うことで、日本文化を伝えるきっかけになります。

所要時間



説明	1分
紙飛行機作成	10分
場所移動	1分
紙飛行機をとばす	10分



準備物

折り紙

あそび方

1

紙飛行機を
作る

2

場所を移動する
(部屋の机や椅子を
移動してスペースを
つくることも可)

3

みんなで
紙飛行機を
飛ばす

4

飛行距離で
勝敗を決める



アレンジができる

どのくらい遠くまで飛ばせるか

…> どのくらい長く飛ばせるかにチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

5 新聞紙パスサッカー

同じチームでボールを作り、またチーム対抗で競うことで、チーム内のコミュニケーションが促進されます。

所要時間



説明・チーム分け	5分
ボール等制作	5分
競技	10分



準備物

- 新聞紙
- セロテープ

あそび方

1

新聞紙で
ボールとボール
受け※を作る
※ちりとりサイズに
折った新聞紙

2

折り返し地点を
決め、スタート
ラインにチーム
ごとに並ぶ

3

ボール受けに
ボールをのせて
折り返し地点を
まわり次の人に
パスする

4

全員がボールを
落とさず先に
ゴールした
チームが勝利
(ボールを落としたら
最初の人から
やり直し)



難易度が調整できる

障害物をプラス

…> 障害物を置いて難易度をあげてチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

1 アレンジジャンケン

だれもができるじゃんけんで、雰囲気をやわらげます。
各国のじゃんけんについて聞くと会話がはずみます。

所要時間



説明 5分

じゃんけん 5分



準備物

なし

あそび方

1

参加者は全員立つ
進行役が最初に
「勝ってください」
「負けてください」
「あいこになってくだ
さい」と指定する

2

「ジャンケンポン」
「ポン」の
タイミングで
進行役が
指定したものを出す

3

指定したものを
出せなかった人は
座る

4

最後の一人に
なるまで
1～3を繰り返す



アレンジができる

日本語でジャンケン

…> 他の言語のジャンケンの掛け声でチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

2 ニックネーム決めゲーム

ニックネームを決めることで親しみやすさが増し、コミュニケーションが取りやすくなります。

所要時間



説明	3分
自己紹介	1分
ニックネーム決め	10分
名札シール書き	1分



準備物

なし

あそび方

1

順番に
自己紹介をする

2

自己紹介の内容を
参考にしてニック
ネームを決める

3

シール名札に
カタカナでニック
ネームを書き
胸に貼る

※ 不快になるようなニックネームをつけないように、留意点として最初に説明することが大切です。



アレンジができる

…> シール名札に、カタカナと各言語を併記して書くと、文字も話題の一つになります

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

3 テーマクイズ

イベントのテーマに合わせたクイズをすることで、
参加者の意識づくりをし、イベントの実施効果を高めます。

所要時間



{	説明	5分
	クイズ	2分×5問



準備物

- クイズ
- (景品)

あそび方

1

進行役が
クイズを出題する

2

参加者は
挙手で回答する

3

出題者は回答を伝え
必要に応じて
解説する



難易度が調整できる

簡単すぎる / 難しすぎる

…> 一問一答、〇×問題など、形式を変えてチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

4 新聞紙タワー

自己紹介をした上で、チームで協力し合い、団結して楽しみながら関係を深めることができます。

所要時間



説明	3分
チーム分け	3分
自己紹介	3分
タワーづくり	10分



準備物

- 新聞紙
- セロテープ
- メジャー

あそび方

1

グループに分かれ、
自己紹介をする

2

新聞紙とテープだけで
制限時間内にできる
だけ高いタワーを
作る

作戦タイム5分
制作タイム5分

3

一番高いタワーを
作ったグループが
勝ち

(タワーを手で支えてはいけま
せん)



難易度が調整できる

…> 紙の枚数と制限時間は変更可能

セロテープをなしにすると難易度が上がります

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

5 みんなにきいてみよう

はじめに参加者全員とすこしずつ話すことで、その後会話がはずみやすくなります。



所要時間



説明	5分
質問・回答	10分
発表	5分

準備物

- 質問カード
(一枚に一つの質問を記載)
- ペン

質問の例:

- ・兄弟・姉妹は何人?
- ・今まで行った一番遠い国は?
- ・一番おいしい大阪の食べ物は? など

あそび方

1

進行役が
一人一枚
質問カードを配る
(1枚に1つの質問)

2

参加者は
自分の質問カードに
書かれた内容を
他の参加者全員に聞く

3

全員の前で、各自の
質問と収集した回答
を発表する



イベントに合ったテーマにできる

質問内容をイベントのテーマに合った話題にすることで

イベントがより有意義になります

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

1 わたしはこんなひと

参加者ひとりひとりが自分らしく自己紹介し
質問することで、お互いを理解し合います。



所要時間



説明	5分
テーマ選び	1分
自己紹介	1分
質問	3分
人数に合わせて繰り返し	

準備物

テーマリスト

テーマの例:

- ・ 家族
- ・ 好きな食べ物
- ・ 趣味

- ・ 特技／自慢できること
- ・ お気に入りの場所
- ・ おすすめのお店

など

あそび方

1

各自テーマリスト
から
自己紹介に盛り込む
3つを選ぶ

2

1分間で、選んだ
3つのテーマを
入れて自己紹介する

3

他の参加者からの
質問に答える



アレンジができる

…> 一人当たりの時間、選ぶテーマの数を変えてチャレンジ

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

2 はじめまシンキング

テーマに従って自分を表現することで、
その人らしさを知り、尊重し合う関係をつくれます。



所要時間



説明	5分
自己紹介	3分
サイコロの質問に答える	5分
人数に合わせて繰り返し	

準備物

- サイコロ
- サイコロの目一覧
(目に対応するテーマを掲示)

テーマの例：

- ①が出たら → 自分を動物に例えると
- ②が出たら → 将来の夢、子どもの頃の夢
- ③が出たら → 最近ハマっているもの
- ④が出たら → 休みの日の過ごし方
- ⑤が出たら → レアな体験
- ⑥が出たら → 当たり目(話したい話題) など

あそび方

1

最初に
自己紹介



2

サイコロを振って
出た目の質問に
答える



3

次の人が自己紹介、
サイコロを振る
(繰り返し)



ポイント アレンジができる

…> サイコロの目の話題を地域に関するものに変更することで、

より親近感がわき会話が増えます

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

3 ウソ?ホント?ゲーム

ふつうの自己紹介ではなく、ゲーム性があるので
その場が盛り上がり参加者同士の距離が縮まります。

所要時間



説明	3分
自己紹介文を書く	5分
発表する	1分
ウソを当てる	5分
人数に合わせて繰り返し	



準備物

- 紙
- ペン

あそび方

1

ウソとホントを混ぜた

自己紹介文を書く

(ウソ1つ、ホント2つ)

(例) 私は5か国語を話します。アフリカに行ったことがあります。ピアノのコンクールで優勝しました。

2

1人ずつ順番に
自己紹介文を発表
する

3

参加者は3択のうち
どれがウソか
挙手する
一番多くの人を騙すことが
できた人が勝ち



アレンジができる

…>発表の後に質問タイムを設けると、より深くコミュニケーションをとることができます

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

4 積み重ね自己紹介

参加者がお互いの名前と好きなことを覚えやすく会話の質が高まります。



所要時間



説明

5分

自己紹介

15分

準備物

なし

あそび方

1

1人めは
自分の名前と好きな
こと/ものを発表する



2

2人め以降は
前の人の名前と好きな
こと/ものに加えて
自分の自己紹介をする

例：「好きなスポーツ」をテーマとした場合

1人め：野球が好きな、Aです。

2人め：野球が好きなA君の隣の
サッカーが好きなBです。

3人め：野球が好きなA君の隣の
サッカーが好きなBさんの隣の
バスケットボールが好きなCです。



難易度を調整できる

…> テーマを2つにして難易度を上げると、さらに達成感があり、より盛り上がります

レベル1

(日本語が話せない方との交流向け)

レベル2

(日本語で簡単な会話ができる方との交流向け)

レベル3

(日本語で流暢に会話ができる方との交流向け)

5 共通点ビンゴ

たくさんの参加者と話すことで、その後スムーズにコミュニケーションがとれる環境をつくりまします。



所要時間



- 説明 5分
- ビンゴ用紙に答えを書く 5分
- 他の参加者に質問 10分

準備物

ビンゴ用紙

例 (数字の代わりに色々な質問を記載)

好きな季節は? ()	漢字は得意? Yes / No	納豆を食べられる? Yes / No
大阪の有名な観光地といえば? ()	好きな日本食は? ()	好きな季節は? ()
東京に行ったことがある? Yes / No	好きなアニメは? ()	好きな日本の場所は? ()

あそび方

1

ビンゴ用紙の
質問に答える

(回答欄を全て埋める)

好きな日本の
場所は？
(富士山)

2

ビンゴをめざし
て、他の参加者
に質問をする

(質問は1人に対して
1回)

3

相手の答えが自
分と同じなら
ビンゴ用紙に
○をつける

4

2・3を
繰り返し
ビンゴをめざす



より詳しく相手を知ることができる

…> 質問と回答だけでなく、会話を続けるように促すことで

よりよいアイスブレイクになります

OSAKA CITY
大阪市



知をつなぐ。世界をつなぐ。未来をつなぐ。

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION CENTER